

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		富山市恵光学園（児童発達支援センター）				公表日	令和8年 1月 30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	5	・環境の構造化については常に意識し、物の配置や動線を工夫するとともに安全面にも十分配慮した環境づくりを行っています。	・利用定員に対してのスペースは適切ですが、活動スペースが限られているため、子ども同士の関わりが、場合によってはお互いに刺激となり、状況によっては、他児への働きかけが強くなり、ケガにつながる恐れのある場面もあります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	9		基準の4対1は厳守しています。基本3対1になるように配慮しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	3	生活空間は活動によって構造化し、こどもにもわかりやすくしています。	・環境設定は常に意識していますが、子どもによっては、注意が逸れる事もあります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	3	定期的に専門業者に依頼し、予防対策および清掃作業を実施しています。	・季節によっては、木造建築のため、隙間がしやすいので修繕等が必要です。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	2	・気持ちを落ち着かせられるよう、教室内にクールダウンゾーンを設け、必要に応じて活用しています。	・個別の部屋がないことが課題です。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15	1	・行事やクラス活動、各訓練等において、職員全体でPDCAサイクルを繰り返し行い、各事業の見直しや質の向上を図っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	1	・HPにも記載されているため確認し業務を見直すこともある。保護者の意見を反映できるように話し合っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	4	・職員会議やクラス会議等、個別相談等で意見を把握し、業務や支援の改善に努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	2	第三者によると外部評価は3月に行っています。	・外部評価で指摘がほとんどない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16		・講義だけでなく実施訓練なども行っています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	16		・HPに記載されています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	16		個々のこども達に合わせて支援会議を行い児童発達支援計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16		・クラス内外で何が目標か課題か等を話し合っています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	15	1	・年度の途中に見直し、職員間で共有されており、支援にも活かされています。 ・目標を抜粋した用紙を教室に掲示し職員が意識できるようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	2	標準化された発達検査を使っています。	・職員の経験値に基づく部分も多く、標準化された評価方法を定期的に活用し、支援の質の向上につなげたいです。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	16				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15	1	・毎月の活動はクラス職員で計画を立てています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15	1		・子どもの特性から活動の内容が固定化されているところもあり、新しい目標に挑戦出来ていない面もあるかもしれない。他クラスとも情報を共有しながら、活動内容の幅を広げていく必要があります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	16		・クラス活動とは別に小集団のグループ活動を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13	3		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	2		・療育終了後に一日の振り返りの機会を設けていますが、業務の都合上難しい日もあります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	14	1	・必要に応じて、電話連絡等を行っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14	1		・卒園後の状況等は相談支援が入っていない方に関しては把握できていないです。 ・地域の保育所や幼稚園を希望されている方には、一時保育等の利用をすすめながら地域への移行に向けた支援を行っています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15	1	・スムーズな移行支援を行う為に、保護者の同意のもと情報共有を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	13	1	市内の障害児事業所等連絡会を年2回行い、情報交換や研修を行っています。県全体のセンターでは研修会を行い、質の向上を図っています。	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	12	2	・外部講師の講演を受けています。 ・外部（県・内外）の研修に参加しています。	・専門職より助言を受けています。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	5	・朝礼では、自立支援協議会児童発達支援部会の参加については、話すようにしています。	・直接関わっていない職員が多いため、参加の有無は分からないので、具体的に報告するよう心がけます。
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	12		・隣の保育園と交流保育を行っています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	16			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16		・クラス職員と連携を取り、支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	14	2		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15	1	・園だより、クラスだより、HP等を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	12	4		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	1	家族も参加し、引き渡し訓練もしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	16			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16		ヒヤリハット集を作成し、事業所内で共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	16			